

# 参考資料

資料1 説明会配布資料（改訂版） ……P1～P12

新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画説明会  
（浮島校区）

資料2 基本計画説明会（浮島校区）質疑応答  
……P13～P19

資料3 パブリックコメント結果 ……P21～P28

R5. 4. 25 新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画

資料4 アンケート集計結果 ……P29～P37

資料5 新居浜市の人口推計（社人研） ……P39・P40

浮島校区の人口推移（住基） ……P41～P44



## 新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に 関する基本計画説明会（浮島校区）



新居浜市教育委員会



### 説明会の趣旨・スケジュール

---

- 本日の説明会では、基本計画の内容、校区の学校の現状や方向性について情報共有させていただき、今後の進め方について御案内させていただきます。
- 説明時間は約30分、そのあと質疑応答を予定しています。
- アンケート調査の回答にご協力をお願いします。

## 内容

---

- 1 なぜ適正規模・適正配置に取り組むのか ……4～7
- 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方 ……8～16
- 3 浮島小学校について ……17～20
- 4 適正規模・適正配置の進め方 ……21～23

### 1 なぜ適正規模・適正配置に取り組むのか

---

#### (1) 学校の適正規模・適正配置の取組とは

- ・現在、本市では少子化に伴う児童・生徒数の減少に加え、学校施設の老朽化などの課題に直面。
- ・そのような課題を踏まえ、次世代を担う子どもたちが将来にわたりよりよい教育環境で学ぶことができるよう、望ましい学校の規模(1校当たりの学級数)に見直し、その学校規模に沿った学校の配置を進める取組み。

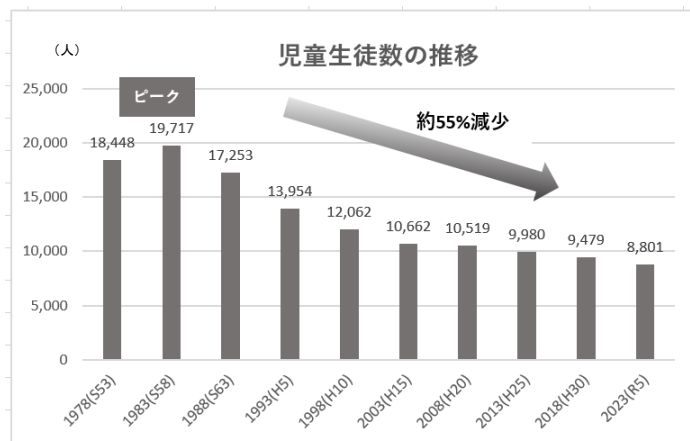


# 1 なぜ適正規模・適正配置に取り組むのか

基本計画  
2.3.4

## (2) 児童・生徒数の減少

- ・本市の児童・生徒数は、昭和58(1983)年度の19,717人をピークに減少が続いています。
- ・令和5(2023)年度の児童・生徒数は、8,801人。ピーク時と比べ約55%減少しています。
- ・推計では今後も減少が継続する見込みです。➡学校の小規模化が今後も一層進展する見通しです。



R5.12.23  
国立社会保障・人口問題研究所が2050年までの地域別の人口推計を公表

### 0～14歳人口(新居浜市)

2020年(R2) 14,258人  
2050年(R32) 8,320人  
約42%の減少

# 1 なぜ適正規模・適正配置に取り組むのか

基本計画  
7

## (3) 学校の小規模化

- ・少子化による学校規模(学校のクラス数)の小規模化が進行しています。
- ・現在、小学校16校中7校(約44%)、中学校11校中8校(約73%)が小規模校以下となっています。

分類	過小規模	小規模	標準規模	大規模
小学校	5学級以下	6学級以上 11学級以下	12学級以上 18学級以下	19学級以上 30学級以下
	別子小(2)	・新居浜小(6) ・宮西小(6) ・浮島小(6) ・垣生小(10) ・多喜浜小(6) ・大生院小(9)	・金栄小(12) ・惣開小(12) ・神郷小(16) ・船木小(12) ・角野小(18) ・泉川小(18)	・金子小(19) ・高津小(19) ・中萩小(24)
中学校	2学級以下	3学級以上 11学級以下	12学級以上 18学級以下	19学級以上 30学級以下
		・東中(9) ・西中(6) ・北中(6) ・泉川中(8) ・船木中(6) ・大生院中(6) ・角野中(9) ・別子中(3)	・南中(14) ・中萩中(12) ・川東中(14)	

※( )は、R5.5.1現在の通常学級数。ひびき分校を除く。

## 1 なぜ適正規模・適正配置に取り組むのか

### (4) 学校施設の老朽化

- ・市内には小学校16校、中学校11校に校舎・体育館等106棟が整備されています。
- ・校舎については昭和40年代から50年代に整備されたものが大半で、多くの建物が築40年を 経過し、老朽化が進行しています。
- ・学校の建て替え等に伴う更新費用で約700億円以上が必要となる見込みです。

➡限られた予算を有効に活用し、将来にわたって良好で安全な教育環境の維持を図るため、将来的な学校の在り方を見据えた上で、建て替え費用の削減等を図りながら施設整備を実施する必要があります。

#### 【学校の建て替え等の考え方について】

将来の児童・生徒数を見据え、経費も考慮し、地区ごとに存続する学校を決め、建て替えや大規模改修を検討する。

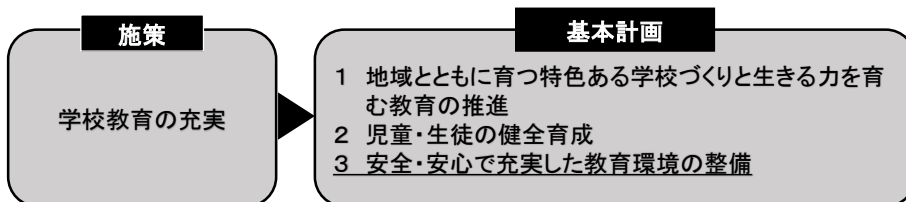
区 分	方 針
存続する学校施設	・築40～50年の施設は長寿命化を検討する。(目標使用年数85年以上) ・築50年を超える施設は建替えを検討する。(目標使用年数65年以上)
廃止する学校施設	・廃止まで現状のまま使用する。廃止後の活用については別途検討する。

※長寿命化工事は、大規模修繕に加え、構造体の劣化防止やライフラインの更新、教育環境の改善を行うもの。

## 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方

### (1) 長期総合計画における位置づけ

令和3年度を初年度とする第六次新居浜市長期総合計画のまちづくりの目標の一つとして「未来を作り出す子どもが育つまちづくり」を掲げ、「学校教育の充実」に取り組んでいます。その中で、「安全・安心で充実した教育環境の整備」として、小中学校の適正規模、学校数についての方針に基づき、既存施設の計画的な改修や更新を行うこととしています。また、新居浜市教育大綱においても同様に位置付けられています。



## 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方

基本計画  
1

### (2) 適正規模・適正配置に関する基本計画策定経過

#### 平成29年8月

- ・新居浜市今後の学校の在り方に関する検討委員会設置  
小・中・高等学校関係者、PTA、就学前教育関係者、自治会関係者、学識経験者など17人で組織する検討委員会の設置(令和3年2月まで合計14回の会議開催)

#### 令和3年3月

- ・新居浜市今後の学校の在り方に関する検討委員会から「新居浜市今後の学校の在り方について」の答申を受領

#### 令和5年2・3月

- ・「新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画(案)」についてのパブリックコメントの実施(意見数33件)

#### 令和5年4月

- ・「新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画」の策定

## 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方

基本計画  
8.9

### (3) 学校の適正規模(小規模な学校から標準規模の学校へ)

<H27文科省手引き>

学級数が少ないことによる課題

教職員数が少ないことによる課題

#### 児童生徒に与える影響

- ① 集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい
- ② 児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい
- ③ 協働的な学びの実現が困難となる
- ④ 教員それぞれの専門性を生かした教育を受けられない可能性がある
- ⑤ 切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい
- ⑥ 進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある
- ⑦ 多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい

より良い教育環境へ

- ① 児童生徒同士の人間関係や児童生徒と教員との人間関係に配慮した学級編制ができる
- ② 児童生徒を多様な意見に触れさせることができる
- ③ 新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる
- ④ クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる
- ⑤ 学級同士が切磋琢磨する環境を作ることができる
- ⑥ 学級の枠を超えた習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることができる
- ⑦ 指導上課題のある児童生徒を各学級に分けることにより、きめ細かな指導が可能となる

## 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方

### (参考)一般的な小規模校のメリット

- ① 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい
- ② 意見や感想を公表できる機会が多くなる
- ③ 様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる
- ④ 複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる
- ⑤ 運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える
- ⑥ 教材・教具などを一人一人に行き渡らせやすい。例えば、ICT機器や高価な機材でも比較的少ない支出で全員分の整備が可能である
- ⑦ 異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる
- ⑧ 地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい
- ⑨ 児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる

## 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方

基本計画  
9.10

### (4)学校の適正規模(望ましい学級数・学級規模)

校種	学級数	1学級当たりの児童生徒数
小学校	1学年2学級以上 (12学級以上)	30人程度
中学校	1学年4学級以上 (12学級以上)	30人程度

クラス替えができる。



※小学校の学級編制基準の標準は令和7年度までに35人に移行する。中学校は40人。

#### <少人数学級の必要性>

- ・感染症対応を踏まえ、学びを保障するとともに、個別最適な学びを実現することが重要。
- ・1人1台端末環境の下での一人一人に応じた個別最適な学びや、多様な学習活動に対応する環境の整備が急務。
- ・通常学級に籍を置く特別な支援を要する子が増加  
(教育再生実行会議有識者意見)

少人数学級

GIGAスクール構想  
1人1台端末

個別最適な学びと協働的な学びの実現

## 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方

基本計画  
10

### (5) 適正配置(通学距離・通学時間)

区分	通学距離	通学時間
小学校	おおむね3km以内	おおむね1時間以内
中学校	おおむね6km以内	おおむね1時間以内

- ・国の基準では、通学距離は「小学校ではおおむね4km以内、中学校ではおおむね6km以内」、通学時間は「おおむね1時間以内」を目安に地域の実情や児童生徒の実態に応じて判断することが適当とされています。
- ・本市では、小学生は徒歩で通学しており、校区の最も遠いところでは約3.3km、通学時間は60分です。中学校は徒歩または自転車通学しており、校区の最も遠いところは、通学距離が6.3km、通学時間は35分という状況となっています。

## 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方

基本計画  
12

### (6) 適正規模の方策

No.	方策	内容	方策に対する考え方
★1	学校の統廃合	既に学校が設置されている用地を活用または新たな用地を確保し、複数の学校を統合するものや、1校を分割し、他の複数の学校に統合するもの。	・将来的に安定した学校規模を確保することが可能となるため、規模の適正化を図る手法の軸として考える。 ・統合により生じる課題への対応が生じる。
2	通学区域の弾力的運用 (特認校制)	学校選択制の一つで、従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも選択を認めるもの(文科省HP)	・小規模校独自の学校の魅力が付加されていない場合は、積極的に遠距離から通学する動機とならない。 ・平成16年に別子小中学校に導入。
3	通学区域の変更	通学区域を変更・再編成するもの	・通学区域の変更は、校区の変更であり、現状の校区コミュニティの再編につながることから、調整が困難。
4	小中一貫教育	「義務教育学校」と「小中一貫型小学校・中学校」に分けられ、施設形態は問わないもの。教職員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成していることが必須となる。	・統合可能な同校種の学校がない時に検討。 ・学校規模の適正化を図るためには、児童・生徒が同一の施設で学ぶ「小・中一体型施設」を目指すことが必要となる。(別子小中学校導入済)
参考	統合が困難な場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統合に伴いスクールバス等を導入しても安全安心な通学ができないと判断される場合。</li> <li>・安定的に通学可能な範囲でさらなる学校統合を進めることが難しい場合。</li> <li>・統合による学校規模の適正化を進めることが困難な場合。</li> <li>・学校を地域コミュニティの存続や発展の中核施設と位置付け、地域を挙げてその充実を図ることを希望する場合。</li> </ul>	

## 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方

### (7) 規模適正化の実施順位の考え方

- ・規模適正化の検討基準に該当する学校

規模適正化検討基準

区分	学級数
小学校	全学年でクラス替えができない (全学年1学級以下・180人以下)
中学校	全学年で2学級以下 (180人以下)

規模  
適正化

#### 望ましい学校規模

小学校1学年2学級以上  
中学校1学年4学級以上  
**<360人以上>**

- ・検討基準に該当する学校が複数発生した場合は、教育指導上の観点からは「複式学級の発生・学校規模の大小」を、施設上の観点からは「建替えの必要性の高いものから」という2つの条件を勘案しながら実施順位を決定します。

<複式学級の編制基準> ・小学校/2個学年16人以下(1年生を含む場合は8人以下)  
・中学校/2個学年8人以下

## 2 適正規模・適正配置の基本的な考え方

### (8) 検討基準に基づく対象校

学校名	R5.5.1		R7		R12		R17		R22		R27	
	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級
○ 新居浜小	166	6	162	6	142	6	118	6	92	6	82	6
○ 宮西小	185	6	175	6	146	6	130	6	94	6	71	6
○ 浮島小	97	6	114	6	98	6	102	6	126	6	147	6
△ 多喜浜小	118	6	128	6	126	6	128	6	120	6	93	6
△ 垣生小	240	10	225	12	210	8	198	8	187	6	191	6
○ 大生院小	216	9	241	12	225	12	188	8	166	6	160	6

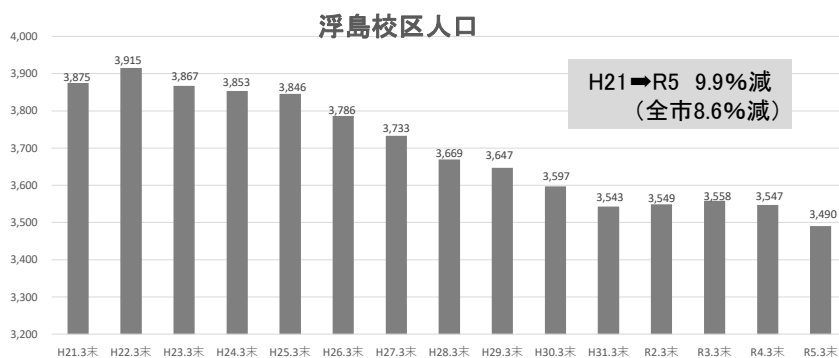
学校名	R5.5.1		R7		R12		R17		R22		R27	
	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級
○ 西 中	174	6	233	6	198	6	151	6	142	6	161	6
○ 北 中	193	6	195	6	167	6	114	3	103	3	92	3
○ 大生院中	136	6	116	3	109	3	102	3	80	3	73	3
△ 船木中	182	6	159	6	132	6	126	6	111	3	96	3
— 泉川中	282	8	256	9	264	9	196	6	175	6	188	6

### 3 浮島小学校について

#### (1) 浮島校区について

◆人口 3,490人(R5.3.31) ※市全体(114,886人)の3.0%

◆世帯数 1,675世帯(R5.3.31) ※市全体(57,655世帯)の2.9%



### 3 浮島小学校について

#### (2) 浮島小学校の沿革

昭和25年 高津小学校より分離独立 4月8日開校

昭和32年 給食室建築 給食開始

昭和34年 特殊学級新設

昭和49年 プール落成

昭和51年 鉄筋3階建1棟新校舎完成(南棟東側)

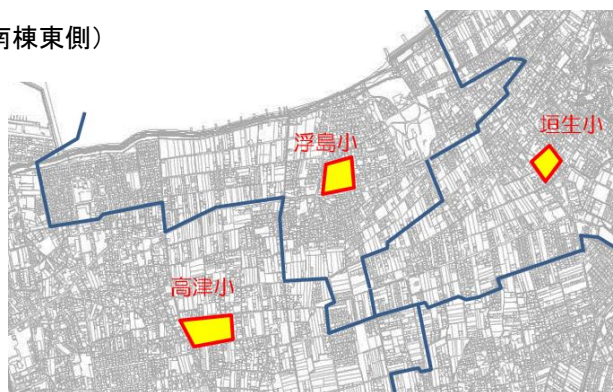
昭和52年 体育館完成

昭和54年 校舎完成(南棟西側・北棟)

<昭和53年5月1日>

- ・教職員数 22名
- ・児童数 431名
- ・学級数 14(特殊2)

(新居浜市史参照)



### 3 浮島小学校について

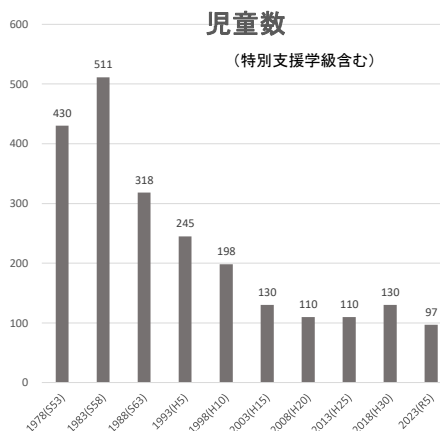
基本計画  
18

#### (3) 児童数の推移

- ・浮島小学校の児童数は、昭和58年度の511人をピークに減少
- ・令和5年度の児童数は97人(1年生8人)で、100人を割り過去最少を更新
- ・推計では今後も減少が続く見込み

(R5.5.15通常学級)

1年	2年	3年	4年	5年	6年
8人	13人	14人	20人	17人	13人



#### (4) 学校施設の状況

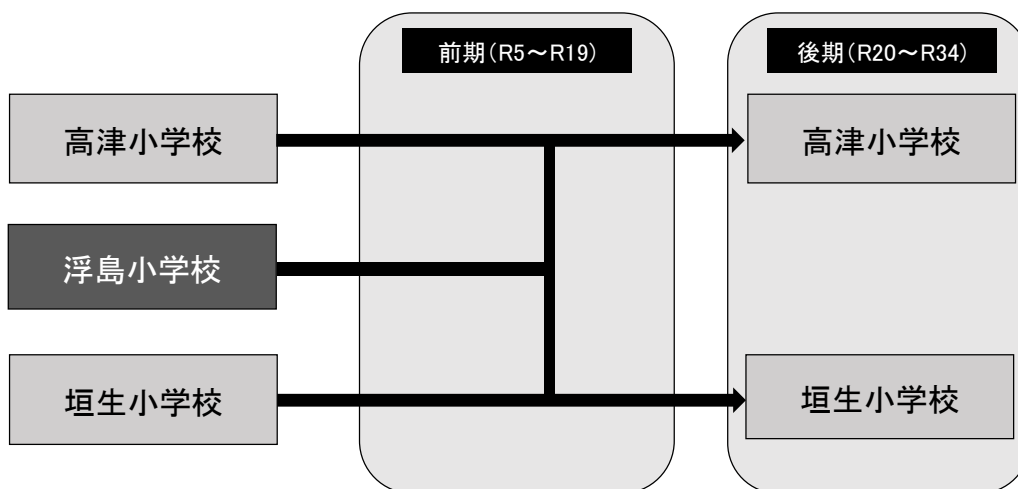
建物名	建設年度	築年数
校舎(北棟)	昭和54年	44年
校舎(南棟)	昭和50年	48年
体育館	昭和52年	46年
プール	昭和49年	49年

### 3 浮島小学校について

基本計画  
27

#### (4) 適正規模・適正配置のイメージ(方向性)

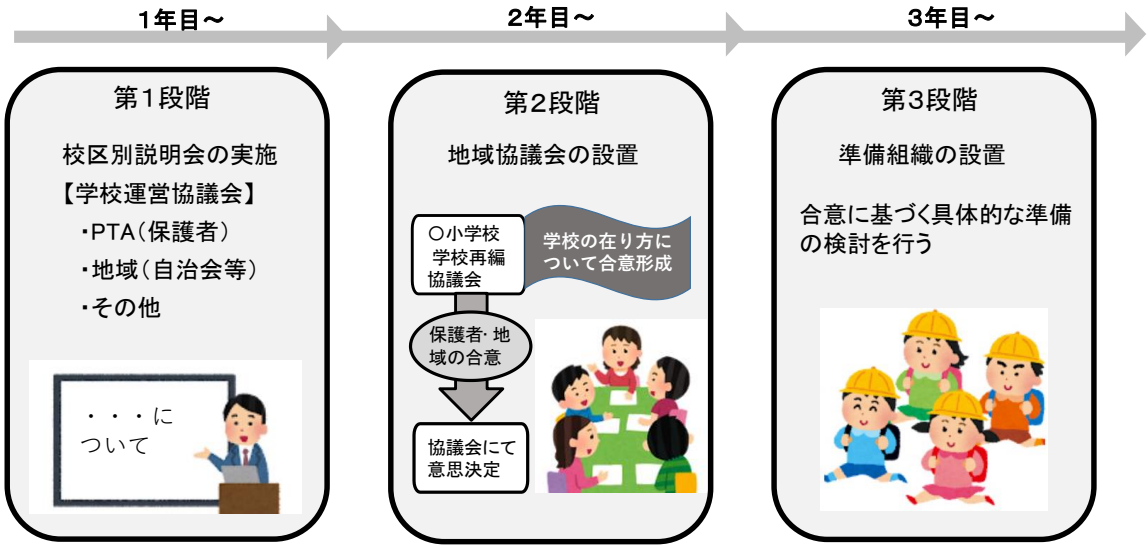
浮島小学校を分離し、高津小学校と垣生小学校に統合





## 4 適正規模・適正配置の進め方

### (1) 基本的な合意形成の進め方



## 4 適正規模・適正配置の進め方

### (2) 適正規模・適正配置を進める上で留意すべき事項

- ① 関係者の理解・協力・合意形成を図る。
- ② 学校統合の場合の児童・生徒の環境変化への対応を行う。
- ③ 通学時間、通学距離が長くなることに対する対応を行う。
- ④ 地域コミュニティの核としての性格へ配慮する。
- ⑤ 学校と地域との関係を維持する。
- ⑥ 「新居浜市公共施設再編計画」などの関連計画との整合性を図る。
- ⑦ 学校の統廃合に伴う跡地の活用について検討する。

## 4 適正規模・適正配置の進め方

### (3)まとめ

◆子ども達のより良い教育環境を目指します。

教育委員会では、将来にわたって子どもたちのより良い教育環境を築くことを第一義に、保護者や地域の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

◆これから協議していきます。※各地区のイメージは参考として示したものです。

保護者や地域の皆様と行政が、地域の学校の在り方について、将来的な方向性を共有し、対話を深めることにより、その地域にとって適した方策を見つけ出し、取組を進めていきたいと考えています。

◆協議会設置にご理解、ご協力をお願いします。

御自身のお子様・お孫様や地域の子どもたちのためにどのような教育環境を整えることが望ましいのか、来年度設置予定の協議会で様々な御意見をいただければと思いますので御協力をよろしくお願い申し上げます。

《新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画HP》

詳しくは

新居浜市 適正規模・適正配置

検索

《お問い合わせ先》

新居浜市教育委員会 学校教育課

電話 0897-65-1301(直通)

FAX 0897-65-1306

電子メール gakkou@city.niihama.lg.jp

## 基本計画説明会（浮島校区）質疑応答

No.	質 問	回 答
1	市としては、子どもたちのためには、統廃合を進める方が良い、という考えなのだと思うが、浮島小はかなり前から少人数だったが、皆、ちゃんと成長をしている。それでも統廃合を進める方が適正だということか。	児童生徒数の減少がさらに進むことが見込まれる今後を見通し、子どもたちの教育環境のあり方を検討した結果を基に、現状の1学年1クラスの小規模校がさらに過少規模化し、教育上のデメリットが顕在化していくことを防ぐために、小規模校から標準規模校へ再編する統廃合を軸として進めることが適当であると考えています。
2	国では少子化対策を行い、子どもの数を増やす取り組みがなされていると思うが、そこにきて小学校の統廃合というのは、国がやることと乖離しているように思うが、どうお考えか。	地球温暖化の例では、その対策として、「緩和策」と「適応策」があり、「緩和策」は温暖化しないよう取り組むことであり、「適応策」は温暖化が続くことを想定した温暖化に適応できるまちづくりを進めることです。少子化対策のこれと同様に、少子化を食い止める「緩和策」と少子化が進むことを想定した「適応策」の両面から取り組む必要があり、学校規模適正化の取組は適応策に該当するものです。
3	小中学校適正規模について議論されたときに、市として、一つでも学校を多く残したいという話が出なかったのか。一つでも学校を多く残していかないという考えはあるか。	一つでも学校を多く残そうとすることは、小規模校をできるだけ維持するということになりませんが、子どもたちのより良い教育環境を築くために、小規模校から標準規模校への再編を進めることを市の方針としています。
4	統廃合の考え方は子どもたちのため、良い教育を目指すということがメインという説明だったと思うが、財政上の問題や教員の減少など、そういった要因は含むのか。文科省は1クラス30人にすると言っているが、それでも国際レベルでは多いと思うし、子どもが学ぶ権利ということをお金のことで決断をしてよいのかというところに疑問を持っているが、市としてはどういったお考えか。	学校の規模適正化の取組は、子どもたちのより良い教育環境を築くことを第一義としておりますが、児童生徒が大きく減少し、さらに減少が見込まれる状況において、児童生徒数が非常に多かった時代に建設された学校施設をそのまま維持・更新することは困難であると考えています。また、教員数については、県内の小・中学校の教員数は減少傾向ですが、この問題は学校の働き方改革を通じて

		改善が図られているところです。 なお、子どもの教育を受ける権利は、学校の規模適正化の取組によって何ら影響されるものではないと考えます。
5	方針として、今、少子化が進む中での高津、浮島、垣生、この数校レベルの統廃合とかそんな規模ではなくて、もう少し先を見据えて、計画をまとめ直すべきではないか。	市内の小・中学校で、規模適正化検討基準に該当する学校について、学校の適正配置基準を踏まえて、地域ごとの長期的な再編の方向性を明らかにしています。
6	この先、何年くらいで統合されるのか。	浮島小学校については、計画期間の前期（R5～R19）の期間内としていますが、統合までの期間は約5年程度かかるものと考えています。
7	統廃合をどうするかの検討委員会があるというのは知らなかった。校区、PTA、自治会など何名かで構成されているとのことだが、こういったメンバーが構成員なのか教えていただきたい。	小中高等学校関係者3名、小中学校PTA関係者1名、就学前教育関係者2名、自治会関係者1名、学識関係者1名、教育委員会が必要と認めるもの6名、アドバイザー1名の15名です。
8	資料では多喜浜小は児童数が減っているが、統廃合の対象とはならないのか。	多喜浜小学校については、地理的要因から神郷小学校への統合が困難であることから、公民館や保育園など、他施設との複合化を検討することとしています。
9	資料では適正配置の進め方として、関係者の理解、協力、合意形成を図るとあるが、何%の人と合意形成を図る必要があるか、数値で示す必要があるのではないか。	地域の中に様々な立場、意見があることから、まずは合意形成を図る前段として、地域の皆さんに市の方針について知っていただく、理解していただくという取り組みを進めていく考えです。最終的に市が決定することとしています。その判断として、協議会等で出されたご意見等を参考とし、子どもたちの教育環境ということを第一義に考えていきます。
10	資料には小規模校のデメリットばかり書かれている。小規模だからこそそのメリットもいっぱいあると思うが、それも一緒に説明してもらわなかったら公平な判断ができないのでは。	一般的な小規模校のメリットを配布資料に追加しました。（「資料1」11頁参照）
11	上部では上部東西道路ができ、バイパスが通った。しかし、川東の南北の道路は今だに通っていない。八幡神社のところは幅4メートルから6メー	本市では平成31年に「新居浜市立地適正化計画」を策定し、目指すべき都市構造として、都市機能誘導区域や居住誘導区域、土地利用

	トルぐらいのところを路線バスが通っている。そういったインフラが整備されていないのも川東の人口が増えない原因と思うがいかがか。	ゾーニングを設け、「コンパクトなまちづくり」と「公共交通によるネットワーク」の連携した人口減少社会における持続可能なまちづくりを進めています。
12	金子小、高津小、中萩小がなぜ大規模校なのかという道が整備され、宅地が整備され、人口が増えているからという理由があるからではないか。整備が進んでいないから、人が住みづらいと思うので、まんべんなく開発を市として取り組んでいただきたいのだがいかがか。	この中で、浮島校区は、「田園居住共生ゾーン」に位置し、農用地域の優良な農地の保全を図るとともに、地域コミュニティの維持に留意した居住環境の維持に努めることとされています。
13	少子化は進んでおり、将来的には統廃合が必要だというのはわかっているが、この資料では浮島小校区は令和17年、22年、27年と増えている。そういった見込みもある中で、それも踏まえて考えることはできないのか。	計画の校区推計人口は、平成27年国勢調査の結果を基に、市において見込んだ数値です。 昨年12月23日に公表された直近の令和2年国勢調査に基づく新居浜市全体の将来人口推計との比較では、約20年後の2045年には、0歳から14歳の人口は前回11,841人から今回8,877人へ見直され、令和2年の実数14,258人から前は約17%減だったのが、今回約40%減少と非常に厳しい結果となっており、浮島校区人口が増加するということは考えにくいと思っています。
14	浮島校区と宇高は、以前は調整区だったが、今も外れている。最近、家とかアパートが新築されているように思うので、資料の通り6年後、7年後には人口は増えてくるようにも思うが、それでも統廃合をするということになるのか。	なお、校区の土地利用の関係では、平成16年に市街化区域と市街化調整区域との区分である「線引き」が廃止され、都市計画上の規制が緩和されていますが、資料16頁のとおり平成21年からの人口推移は減少傾向で、この傾向が続くと考えています。
15	児童数はどのように減っていくのか。	令和5年12月23日に公表された社会保障・人口問題研究所の推計によれば、本市の0歳～14歳までの年少人口は、右肩下がりで減少し、令和2年の実数14,258人が、約25年後の2050年(R32)には8,320人と、約42%減少すると見込まれています。
16	浮島校区だけでなく市全体の人数の減少傾向は何%かというデータはあるのか。	平成21年から令和5年までで浮島校区が9.9%減に対し、全市は8.6%減となっています。※「資料1」17頁に全市データを追記しました。

17	資料では児童生徒数の減少が詳しく説明されており、40年前からは55%ぐらいの減少になっている説明となっていたが、これは愛媛県内で見ると、新居浜市はどれぐらいのレベルなのか。ダントツで新居浜市は減ってきているのか、そうではないのか。	県内市町の平成2年度(1990年)と令和5年度(2023年)の児童生徒数の比較では、県全体で約48%減少、新居浜市は約45%の減少となっています。その他では、松山市・東温市・松前町が35%程度の減少、南予では宇和島市や八幡浜市は70%近い減少、最も減少しているのが伊方町の78.3%減となっています。
18	例えば高津小と浮島小の児童数を合わせると約800人。それを割って約400人ぐらいの学校を2つにしたら理想的ではないのか。校区編成を見直すという案はないのか。	R5年度の高津小学校と浮島小学校を合わせた児童数は684人となっています。またこの数が6年後のR11年度には550人を下回る見込みです。校区再編による通学区域の見直しだけでは将来的に安定した規模を確保することが困難であると考えています。
19	子どものことを第一に考えて施策を、ということだが、現状、中学校進学の際は東中と川東中にそれぞれ行くので、子どもたちは別れることとなるが、そういったことにも配慮した統廃合か。	計画では、東中学校と川東中学校は現状のまま学校を維持する考えですが、その中で通学区域の見直しについては、必要に応じて検討していきます。
20	浮島小の廃校は基本的には決定しているという認識でよいのか。統廃合にならない可能性というもあるのか。	今回計画をとりまとめ、市(教育委員会)としての考えや方向性は決定していますが、最終的な決定に向けて、地域の合意形成を図り、多くの人にご理解いただけるよう努めてまいります。
21	浮島小の統廃合ありきで話されていたと思うが、小学校を残す方向で、なぜ話をしないのか。	今後さらに児童生徒数が減少する見通しの中で、子どもたちの教育環境の維持・向上を考えると、小規模校を標準規模校に再編することが必要であると判断しています。
22	浮島小を残す、この計画が白紙になるという場合はどこで決めるのか。教育委員会か。それとも検討委員会か。	地域の皆様のご意見等を広くお伺いし、浮島小学校に関する最終的な判断は市において行います。
23	もし、浮島小が統廃合になるとなった時に、在校生や新入生が、例えば高津小だったり垣生小を選択できるようなシステムにする予定はあるか?	基本的には、統廃合後の通学区域の見直しを行い、その上で、校区外通学については現行の基準に照らして判断することになりますが、必要に応じて特例も検討します。
24	少子化や予算などを考えたら。学校規模を適正化するのには理解できるが、少なくとも2、3年前、なるべく早めに決定内容を周知いただき、転校準	地域の中で統廃合についての具体的な協議を始めてからでも5年程度の時間を要すると想定していますが、その間、協議の経過、

	備期間などを十分に確保していただきたいがいかか。	内容についても地域の皆さんに広報・周知し、情報の共有に努める考えです。
25	浮島小が無くなる場合、クラスの子と離れ離れになるなど、子どもがつらい思いをしないように、前向きに検討していただきたい。	基本的には、統廃合後の通学区域の見直しを行い、その上で、校区外通学については現行の基準に照らして判断することになりますが、必要に応じて特例も検討します。
26	若宮小が統廃合され、児童が惣開小に転校した際、担当をつけてメンタルケアを重視させたと言われていたが、浮島小が統廃合の方向に話が進んだ場合、特別支援を必要とする児童が多いという特徴もあるのだが、転校するというリスクを軽減する対策というのはどのくらい考えているのか。	若宮小学校同様に児童に対するメンタルケアと合わせて、特別支援を必要とする児童については、転校のリスクを軽減し、統合先の学校でも同様の対応が受けられるよう必要な体制を確保に努めます。
27	自分の子を支援学級が充実しているという理由で、浮島小に転校させたという経緯がある。小規模校として残し、支援学級を充実させるという考えはあるか。	特別支援を必要とする児童については、転校のリスクを軽減し、統合先の学校でも同様の対応が受けられるよう必要な体制を確保に努めます。
28	文科省からの通達により、バイオ、情報、土木の技術者の増員について大学の方に動きがあると聞いた。小規模校のメリットとしてICTなどを行き渡らせやすいことなどが考えられる。浮島小にそういった特色を加えて残すという考え方はないか。	国のGIGAスクール構想を踏まえて、市内全ての学校で一人1台端末などICT環境を整えており、小学校の段階では、子供たちがICTを適切・安全に使いこなすことができるようネットリテラシーなどの情報活用能力を育成していく考えです。
29	小学校1年生の6歳の子に3キロ歩けっていうのは酷ではないか。	通学距離について、国の基準では小学校では概ね4km以内とされているが、児童の体力面や精神面等に配慮し、本市では概ね3km以内としています。
30	義務教育というのは、決まった学校に行く義務もあるというのが、義務教育ではないか。以前、校区外の隣の中学校に行ってもよいという制度があったと思うが、今は無いのはそれが間違いだったからではないのか。	義務教育は子どもの義務を課すというものではなく、子どもの教育を受ける権利、学ぶ権利を保障するものです。 中学校選択制度については、特定の学校への利用希望の偏り等の問題もあり、平成27年度に見直しを行い、現在の基準に基づき運用しています。
31	浮島校区から80名が校区外の小学校に通っているということだが、在学人数と同じぐらいの人数が他の学校に通うのを特例と言ってよいのか。	校区外通学については、浮島校区外の学校へ通う児童が80人で、一方、校区外の学校から浮島小学校へ通う児童が14人となっています。市内全体では490人の児童が校区外の

		学校に通学していますが、同じ基準で運用しているにも関わらず、浮島校区の校区外通学数が顕著となっており、地域特性による影響もあるものと考えています。
32	浮島校区から 80 名が校区外の小学校に通っているということだが、その 80 名が浮島小学校に行っていたら状況は変わっていたのではないか。	令和 5 年度の浮島小学校の全児童数が 97 人で、校区外通学がなかった場合には 163 人となりますが、この場合においても全学年でクラス替えができない小規模校となり、規模適正化検討基準に該当しています。
33	家庭の事情によって他の校区の学校に特例として行けることについて、その審査を厳しくすることはできないか。	他の校区では特段、校区外通学は問題となっておらず、全市同様の基準に基づき運用する中で、浮島校区については、審査手続き以外の要因があると考えています。
34	浮島小が閉校になるんだったら行かせるのはやめて、校区外通学で隣の学校に行かそうという動きが出てくると思うのだが、これまで通り校区外通学を安易に認めるのは控えていただきたいと思うがいかがか。	引き続き校区外通学の許可基準に基づき、適正に運用します。
35	例えば前例として、若宮小学校が大体何年くらいで統廃合したのかという参考資料などをもらうことは可能か。	若宮の場合は急激に児童数が減少したことにより、複式の発生が見込まれ、保護者や地域と協議を急いだという反省を踏まえ、今回、基本計画を策定し、保護者や地域等、関係者と十分な話し合いを行い、適正規模・適正配置について協議を進めていくこととしています。
36	統合ありきで話を進めるのではなく、若宮小の時の数値など出して、前はこうだったなどと説明の上で、もう少し話を聞きに来た人に寄り添った形で説明してほしいと思うがいかがか。	
37	若宮小の例として、こういった説明会を設けたことで廃校が噂となり、次に入学する子が減り、減少が進んでいったとかいうことはなかったのか。	
38	若宮小の時にも同じような進め方をしたのか。地域の人と話をし、納得してもらい、廃校になったのか。	
39	もし、廃校となっても「浮島」という名称は残してほしい。	
40	学校が統合されたら、公民館などもなくなるのか。	ご意見を参考とします。
		新居浜市公共施設再編計画では、公民館につきましては、継続利用を基本としており、浮島公民館は、地域の拠点としての役割を引き続き担っていくものと考えています。



41	校区が無くなったら、今やっている補導員の仕事も無くなるのか。	若宮校区の例では、学校の統廃合後もこれまでの校区を単位とした地域コミュニティ活動はそのまま存続していますので、補導員の仕事も同様と考えています。
42	卒業しても地域のことを一生懸命考えている校区だと思うが、そういう校区、学校をなくしているのか。	各学校それぞれに地域住民の皆さんの強い思い入れがあることは十分理解していますが、将来を展望し、子どもたちにとってより良い教育環境の実現に向けて取り組んでまいります。
43	浮島校区というコミュニティをどうしていくのかという話も必要と思うが、そういった話の場も設けてもらえるのか。	今後、協議会の中で具体的な協議を進めていく段階で、地域コミュニティの在り方について協議を行っていく予定です。
44	全国的に問題になっているが、自治会としての地域コミュニティの数が減っている。自分が自治会活動をする中で若い人が住んでくれなければ人も増えない。そういったことも加味してこの統廃合のことを考えてほしいが市のお考えはどうか。	学校の規模適正化については、子どもたちのより良い教育環境を築くことを第一義として考えていくこととしています。
45	2月の新聞には、小中学校を30年かけて再編すると書いており、検討中であるにもかかわらず、浮島小は閉校と書かれている。閉校と書かれてしまうと、ますます、浮島小には子どもが来ないかもしれない。なぜこのような書き方をされたのか。	計画の中で適正規模・適正配置のイメージとして示めしたところ、「閉校」という報道がなされ、地域住民の皆さんにご心配をおかけしましたことについて改めてお詫び申し上げます。
46	2月に新聞に廃校になるかもわからないと載っていたが、その時に浮島小に通っていた子どもたちの気持ちは考えたのか。	



## 第3号様式（第6条関係）

新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画（案）に関する  
意見募集の結果について

令和 5年 4月 25日

新居浜市教育委員会学校教育課

- 1 意見募集期間 令和5年2月20日（月）～3月24日（金）
- 2 意見提出人数 13人
- 3 意見提出件数 33件
- 4 提出意見の概要と意見に対する市の考え方

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
1	子供の見守り、子育て支援、子育て支援のための教員育成を考えると、小規模校を合併させて、規模を大きくする必要はありますか。合併しなくていいのではないですか。	学校では、教科等の知識や技能の習得に加え、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要であり、望ましい学校規模を小学校は1学年2学級以上、中学校は1学年4学級以上としています。
2	一人の先生で30人の子供を指導するのが適切な数ですか。先生の指導のためにも規模を小さくしといたほうがいいのではないですか。	本市の一学級の児童生徒数は、現在県の規程に準じて、小学校1～4学年は35人、5・6学年及び中学生は40人となっていますが、児童生徒間のコミュニケーション、教員と保護者との情報交換、教員によるテストの評価等の負担を考慮し、望ましい学級規模を小・中学校ともに1学級30人程度としています。
3	パブリックコメントの募集をホームページで探したがなかなか見つけられませんでした。ホームページを見ても、わかりづらいことが多いので、ホームページの作り方を考えてほしい。	ホームページの作成に当たりましては、市民の皆様にとって分かりやすい内容となるよう心がけてまいります。
4	児童数の減少に伴い、学校を統合するの	学校は、防災拠点としての役割や、地域に

	<p>は致し方ないことと思います。</p> <p>統合後の、空いた校舎はどのような予定ですか。不登校の生徒さんのための場所を確保できないですか。「おとなの学校」と称した、学校スタイルの介護施設で、認知症予防や改善のためのサービスを提供しているところもあります。慣れ親しんだ校舎を、市民のために有効に活用してください。</p>	<p>おける文化・スポーツ活動の拠点としての側面を持っていることから、統廃合による学校跡地の利用については、施設の状況や地域の意見を十分に考慮し、全市的な行政施策との調整を図りながら検討してまいります。</p>
5	<p>統合後に空いた校舎は、どのような予定ですか。不登校の生徒さんが通える場所や、会議室などを設けてはどうか。既存の建物の有効活用をお願いします。</p>	<p>番号4の回答をご参照ください。</p>
6	<p>小学1年生に片道3kmの徒歩は負担、片道2kmまでとすべきです。重い荷物を持ち、さらに炎天下の中の長距離の徒歩通学は、児童を熱中症、さらに生命の危機にさらしかねません。最大でも2kmが限度と思います。</p>	<p>通学距離については、国の基準は、小学校では概ね4km以内、中学校では概ね6km以内とされていますが、児童生徒が体力的・精神的に疲労することのないよう、また学校における学習意欲や様々な活動に影響を与えることのないよう十分配慮し、本市は、小学校は概ね3km以内、中学校は概ね6km以内が適当であると考えています。</p>
7	<p>バス通学となる場合は、児童・生徒の家庭の家計に関わらず全額を公費負担とするのが筋と考えます。</p>	<p>通学距離が遠距離になる場合の通学支援制度については、全市的な見地から費用負担を考慮し検討してまいります。</p>
8	<p>学童帰りの時間帯にも帰宅用のバスの確保がなされるのが筋と考えます。このバスの費用も所得制限なしで全額公費負担とするのが筋と考えます。</p>	<p>番号7の回答をご参照ください。</p>
9	<p>新居浜市の教育に関わる大切な案件にもかかわらず、ほとんどの人がこの計画について知りません。積極的に市民の意見を聞こうとする姿勢があるのなら、学校やPTA、幼稚園や保育園などを通して、学校に関わる保護者やこれから小学校に通う幼児をもつ保護者に、これから子どもを持つ若い世代にも、学校が変わる計画があることを伝え、その上で意見を募集するべきだと思</p>	<p>本計画は、学校、保育園、幼稚園、PTA、自治会、公民館のほか、市内各種団体の代表者で構成する「新居浜市今後の学校の在り方に関する検討委員会」の答申を踏まえて、教育委員会としての基本的な考え方を整理したもので、適正化の検討が必要な学校につきましては、個別計画を策定することとしており、地元説明会等を通じて、保護者や地域住民等、関係者の皆様に丁寧な</p>

	ます。	説明やアンケート調査を行うとともに、意見交換や協議の場を設けることとしており、その内容につきましても情報共有を図りながら取り組みを進めてまいります。
10	<p>少子化がかなりすすんでいることを改めて感じました。学校をこれまで通りの形で存続させる難しさも感じました。</p> <p>若宮小学校廃校の際にはあまりに急で大きな反対や混乱があったことも考えると、このようにしっかりと次の段階を計画していくことは大切だと思います。</p>	本基本計画をもとに保護者や地域住民、学校関係者などと話し合い、合意形成を図りながら、学校規模適正化や適正配置に取り組み、児童生徒にとってより良い教育環境を整備し、教育の質のさらなる充実を図ります。
11	<p>校舎を引っ越すだけでなく、人間関係が大きく変わるとは子どもたちの精神的な負担になります。特に人間関係の影響は大きいと思います。3年しかない学校生活の中で前もって交流させるのですか。そんな落ち着かない環境の中で、受験生なんてどうするのですか。学校で校舎が変わるのは別物にならないくらい影響があると思いますが、そのあたりはどう考えていますか。少なくなれば、併せればいいといった簡単なものではなく、この機会に教育の在り方を見つめなおすことも合わせてしてほしいです。</p>	学校統合を行うこととなった場合には、急激な人数の増加に伴う児童生徒の戸惑いや不安をやわらげ、人間関係の構築に留意した学校運営に配慮する必要があるため、不安や悩みを把握するための継続的なアンケート調査の実施等、フォロー体制を確保し、また教育方針や教員配置、学校行事が急変することのないよう、学校行事、部活動、PTA等において事前の相互交流を行うなど、統合前の学校運営を十分に考慮し、円滑な学習環境づくりに努めてまいります。
12	<p>子どもたちを第一に考えて一方的に進めることなく時間をかけて丁寧に関係者と意見を交わし、取り組んでほしい計画だと思います。どうか子どもたちの教育について、子どもたちのことを1番に考え、慎重にお願いします。</p>	番号9・10の回答をご参照ください。
13	<p>惣開、西中の良さ、校風、地域性、特色は大切にさせていただけないのでしょうか。船木や大生院、多喜浜は距離の問題から小規模校をメリットとして許されるのに、令和27年になっても今とかわらず2クラスを維持できている西中を、少なくなった北中</p>	教育的な観点から、本市の望ましい学校規模を中学校は1学年4学級以上としておりますが、通学区域の見直しだけでは、将来的に安定した規模を確保することが困難となることが予想されるため、規模適正化は統合を軸として考えています。

	<p>の為に場所も地域性も変えて負担を強いられなければならないのでしょうか。</p> <p>校区を見直せば西中は今の特色をいかして存在できるのではないですか。安易で、そこに暮らしている人の気持ちなんて一つも考えていません。簡単に少ないとこ併せようとししないで、その前に少子化対策してください。その前に校区の見直ししてください。できることしっかりした上で考えてください。惣開、西中の良さ、校風、地域性の中で育まれる子どもたちの未来を希望します。この適正規模、適正配置には反対します。</p>	<p>今後は、本基本計画をもとに保護者や地域住民、学校関係者などと話し合い、合意形成を図りながら学校規模適正化や適正配置に取り組み、児童生徒にとってよりよい教育環境を整備し、教育の質のさらなる充実を図ってまいります。</p>
14	<p>浮島小学校は少人数ですが、その分年代の違うこども同士交流が盛んで、地域の方々にふれあい、心身ともにおだやかにゆとりを持って成長することができる他にはない地域特性の学校と感じています。少人数だからこそ、多人数では出来ない事も出来る(経験出来る)こともあるのではないのでしょうか。</p>	<p>番号1の回答をご参照ください。</p>
15	<p>浮島校区内のこどもが校区外の学校へ行っている事がかなり多く見られます。過去、数十年、きっちり校区の学校へ入学をしていけば、違う結果になっていたのではないのでしょうか。順番が違うのではないのでしょうか。</p>	<p>校区外許可通学につきましては、保護者の就労その他家庭の理由や兄弟在学等の教育上の配慮によるものなど、許可基準に基づき許可しているところです。</p> <p>近年、全市的な児童生徒数の減少が続いており、浮島校区におきましては、校区外入学にかかわらず、規模適正化の対象となるものと考えています。</p>
16	<p>多喜浜、大生院、船木地区等が、地理的要因に配慮し、公民館、保育園等の複合化で「小規模ならではのメリットを生かした特色ある学校として存続」できるのであれば、川西地区もそうしていただきたい。</p> <p>金子小学校も老朽化しているのだから、北中、西中の合併を言うなら南中をも一貫</p>	<p>番号9・10の回答をご参照ください。</p>

	<p>校とすべき。</p> <p>北中、西中は地域の特性に配慮し、合併はせずに、①北中×宮西小、新居浜小、②西中、惣開小、③南中×金子小、金栄小校区を見直したり、3校フリーに校区を選べれば良いのではないかと。</p>	
17	<p>学校跡地については立地条件が良い広い場所なので、さっさと解体して、分譲地、マンション用地とし、若い人達に格安で住宅を提供する。人口増加、児童増加に少しでも役立つ。ワクリエは一つで十分です。</p>	<p>番号4の回答をご参照ください。</p>
18	<p>パブリックコメントについては、本気で意見を求めているというならせめて市政だよりの第1頁に大きく載せたり、用紙も無駄と思わず付けてほしい。HPから提出用メールをクリックですぐにとべる等、計画を周知させる工夫がないと誰も知らず、意見ゼロで終わることが多すぎます。</p>	<p>パブリックコメントの周知については、いただいたご意見等を参考に、またSNS等も活用するなど、幅広く市民の皆様へ広報し、ご意見をいただけるよう努めてまいります。</p>
19	<p>高津小学校と浮島小学校を統合し、校区編成により2分すれば、将来推計を見ても350~400名の児童数となり、適正規模、適正配置になるのではないのでしょうか。今後十分に検討し、住民の生活面、校区全体の活性化のこともよく考慮していただきたいと思っております。</p>	<p>番号9・10の回答をご参照ください。</p>
20	<p>このような案件は、HP上もしくは市内の施設に配布して開示しただけでは不十分だという意見が多いです。</p> <p>まず適正対象の校区の保護者に対して、実際このような案件があり、新居浜市のHPなどに一度確認してほしい旨を、学校から各家庭へプリント等で、連絡すべきと考えます。その上で意見を集め、新居浜市と適正化対象に関わる学校の家庭、あるいは現在は適正化範囲外でも、子供を持つご家庭の意見も取り込んで、最終的にもっと具体的</p>	<p>番号9・18の回答をご参照ください。</p>

	な方向性を段階的に開示していくべきだと思います。新居浜市は手間を省きすぎです。	
2 1	パブリックコメントを求められていることを全く知りませんでした。もっと知らせるべきことだと思います。	番号18の回答をご参照ください。
2 2	少子化問題は深刻で統廃合はある程度仕方がない面もありますが、子どもが楽しく通える特色ある魅力ある学校作りを念頭に置き、校風も考えず距離的に近いからということだけで統廃合されることがないようにお願いしたいです。 西中と北中が近いからと安易に統廃合するのは反対です。	番号13の回答をご参照ください。
2 3	文部省の意向とは違いますが、1組20名程度で複数クラス編成すると先生と児童生徒の距離も近くなり、精神面でも勉学面でもよいと思います。	番号2の回答をご参照ください。
2 4	将来的には惣開小学校との小中一貫校も案に記載がありました。田舎でしかも小中一貫校、何のためにと疑問です。小中一貫校にした場合のメリット、デメリットを知らせた上で、パブリックコメントを求める必要があると思います。 小学一年生と中学三年生が同じ学び舎で過ごすというのも年齢幅が大きいため不安を感じます。一貫校ということであれば、県とも協議し、中高一貫校を目指す方がよいのではと思います。 上部地区・川東地区にはスクールバスを検討する等、児童の通学負担が軽くなる対策をご検討下さい。	小中一貫校のメリットとして、子どもたちにとっては、中1の壁、小学校と中学校のギャップの緩和・解消や、異学年交流により精神的な発達が促されることなどがあります。また、教職員にとっては、系統性・連続性を意識した教育や、生徒に対し、継続的に指導を行うことができることなどが挙げられます。 一方、デメリットとしては、小学校と中学校の節目がなくなり、小学校卒業の達成感や中学校に向けた新たな気持ちの切り替えが失われる可能性などがありますが、これらのデメリットに関しては、教員が連携・協力しながら、メリットを伸ばす学校運営に努めていくことで対応が可能であると考えています。 中高一貫校については、愛媛県県立学校振興計画の中でも児童・生徒数の大幅な減少や地域協議会等の意見を踏まえ、宇和島



		<p>南中等教育学校を募集停止とすることから、新たに新居浜市に中高一貫校を設置することは困難であると考えています。</p> <p>適正規模・適正配置を進めていく上で統廃合等により通学距離が遠距離になる場合は、全市的な見地から費用負担を考慮した通学支援制度を検討してまいります。</p>
25	<p>西、北中の統合に反対いたします。</p> <p>少子化で何の対策も行わずただ単に人数が少なくなったから学校を無くする考えは馬鹿げている。</p> <p>各校区に於いても必要であり大切なものだ、小さな学校ほど教育的に必要なと思う、小学校でも同じで市内の区割りの見直しなど何一実施されていない、ただ単に少なくなったから統合の考えで住民の為に働いていない。</p>	番号1・13の回答をご参照ください。
26	<p>こうした大切な事は新居浜市全世帯にはっきりわかる様に公表をお願いしたい、小さな表示で公表して市民をだますような方法は如何なものか</p>	番号18の回答をご参照ください。
27	<p>パブリックコメントのみで意見を募集しても、あまり意見が出ていないと思われます。校区まちづくり集会での意見募集など、担当者が直接公民館や自治会館に足を運び、説明し、意見を聞く機会を設けてください。水面下で計画を進めようとしている印象を強く感じています。</p>	番号9の回答をご参照ください。
28	<p>若宮小学校統合の際と同じことを繰り返さないでください。今の状態では計画には、反対です。</p>	番号10の回答をご参照ください。
29	<p>意見が無いことを良いことと捉えず、むしろ興味が持たれていない、周知方法が間違えている、不足していると危機感を持ってください。</p>	番号18の回答をご参照ください。
30	<p>少子化対策と合わせて計画としては進ん</p>	人口減少に係る少子化対策については、

	<p>でいますか。川西地区の人口増加のための施策は無いため、統合する方向なのですか。新居浜市の中心地として、土地活用や区画整理などを進めることは検討されていますか。</p>	<p>本市が直面する最重要課題であり、若者の市外流出による社会減と出生数の減少による自然減による双方に歯止めをかけるため、新居浜市総合戦略に基づき、地元産業の振興、交流人口・定住人口の拡大、結婚、出産・子育て支援の充実等の様々な施策に取り組んでいます。しかしながら全市的な傾向として、今後も児童生徒数の減少傾向が続くと見込まれており、児童生徒にとってより良い教育環境を整備するため、川西・川東・上部の各地区において規模適正化・適正配置に取り組むこととしています。</p> <p>なお、川西地区においては令和5年3月31日に新居浜市市民文化センター基本構想を策定し、新施設の整備を推進することとしています。</p>
3 1	<p>WHOでも100人を上回らない学校規模を勧告しています。少子化のときこそ少人数学級を進め、教員を増やし、一人一人の子どもを大切に、行き届いた教育をする方向を目指すべきだと考えます。急いで統廃合しないでください。</p>	<p>番号1・10の回答をご参照ください。</p>
3 2	<p>西中北中合併の件について、それぞれの中学校が地域性や、教育方針など様々な色がある中、子供達が学校を選べる環境を崩してほしくないです。</p>	<p>番号13の回答をご参照ください。</p>
3 3	<p>このようなご意見の形だと市民の方々は知らないまま勝手に決定しているように思います。多くの子供の未来を左右する問題でもあるのでもう少し市民の方々の意見を尊重するために地域への呼びかけや小さい記事ではなく大きく記事にして宣伝し、意見をいただくなど、もう少し市民に寄り添うような方法はないのかと思います。</p>	<p>番号18の回答をご参照ください。</p>

※個人が特定される情報が含まれると判断した御意見や提出期限を過ぎて提出された御意見につきましては非公表としています。

# アンケート集計結果

## 新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関するアンケート

実施主体	新居浜市教育委員会事務局学校教育課
調査方法	説明会で調査票を配布・回収
調査日	令和5年8/28、12/4、12/18、12/20、 令和6年1/24
調査対象	浮島校区説明会参加者（学校運営協議会・ 保護者等・浮島自治会・松の木自治会・校区住民）

### 【目次】

◆単純集計	.....	P30～33
◆自由意見	.....	P34～36
◆クロス集計	.....	P37

## 1 回答者について

### (1) 性別 (単回答)

選択肢	回答数	割合
1 男	40	60.6%
2 女	24	36.4%
無回答	2	3.0%
回答者総数	66	100.0%

### (2) 年齢 (単回答)

選択肢	回答数	割合
1 20歳未満	0	—
2 20代	1	1.5%
3 30代	18	27.3%
4 40代	19	28.8%
5 50代	12	18.2%
6 60代以上	16	24.2%
無回答	0	—
回答者総数	66	100.0%

### (3) 同居するか家族 (複数回答)

選択肢	回答数	割合
1 未就学児がいる	4	6.1%
2 小学生がいる	11	16.7%
3 中学生がいる	3	4.5%
4 該当なし	21	31.8%
5 未就学児・小学生がいる	12	18.2%
6 未就学児・中学生がいる	0	—
7 小学生・中学生がいる	13	19.7%
8 未就・小・中学生がいる	1	1.5%
無回答	1	1.5%
回答者総数	66	100.0%

## 2 適正規模・適正配置について

(1) 小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画について (単回答)

選択肢	回答数	割合
1 内容を見た	34	51.5%
2 策定したことは知っている	24	36.4%
3 策定したことを知らなかった	7	10.6%
無回答	1	1.5%
回答者総数	66	100.0%

(2) 学校規模の適正化について (単回答)

選択肢	回答数	割合
1 理解できる	10	15.2%
2 概ね理解できる	31	47.0%
3 理解できない	13	19.7%
4 どちらともいえない	12	18.2%
無回答	0	—
回答者総数	66	100.1%

(3) あなたの校区における「学校規模の適正化」は必要だと思いますか (単回答)

選択肢	回答数	割合
1 必要	4	6.1%
2 どちらかという必要	23	34.8%
3 どちらかという必要ない	7	10.6%
4 必要ない	15	22.7%
5 どちらともいえない	17	25.8%
無回答	0	—
回答者総数	66	100.0%

### 3 校区の学校について

(1) ここ10年、校区の子どもの数が減ってきたと感じる。(単回答)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	45	68.2%
2 そう思わない	11	16.7%
3 わからない	9	13.6%
無回答	1	1.5%
回答者総数	66	100.0%

(2) 校区のこどもの数はこれからもだんだん減っていくと思う。(単回答)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	38	57.6%
2 そう思わない	12	18.2%
3 わからない	15	22.7%
無回答	1	1.5%
回答者総数	66	100.0%

(3) 子どもの学ぶ環境として、複式学級でもよい。(単回答)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	20	30.3%
2 そう思わない	28	42.4%
3 わからない	15	22.7%
無回答	3	4.5%
回答者総数	66	99.9%

(4) 子どもの学ぶ環境として、小規模(学年1クラス)な学校でよい(単回答)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	52	78.8%
2 そう思わない	7	10.6%
3 わからない	6	9.1%
無回答	1	1.5%
回答者総数	66	100.0%

(5) 子どもの学ぶ環境としてクラス替えができる学校規模はあった方がよい。(小学校) (単回答)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	19	28.8%
2 そう思わない	26	39.4%
3 わからない	20	30.3%
無回答	1	1.5%
回答者総数	66	100.0%

(6) 市内の学校施設(校舎など)の老朽化が進んでいると感じる。(単回答)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	25	37.9%
2 そう思わない	19	28.8%
3 わからない	22	33.3%
無回答	0	—
回答者総数	66	100.0%

(7) 財政的に市内の学校施設を現状のまま更新(建替・大規模改修)することは難しい。(単回答)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	28	42.4%
2 そう思わない	9	13.6%
3 わからない	28	42.4%
無回答	1	1.5%
回答者総数	66	99.9%

(8) 将来的に校区の小学校が廃校になる可能性があると思う。(単回答)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	34	51.5%
2 そう思わない	13	19.7%
3 わからない	19	28.8%
無回答	0	—
回答者総数	66	100.0%

## 4 自由意見

<ul style="list-style-type: none"><li>・市（県）として、この取組は当然だと思います。—現状を知れば—</li><li>・地域（浮島）の者として、小学校がなくなるのは本当に気持ちとして忍びないです。特に地域コミュニティの核として浮小がありますので、それがなくなるというのは、地域全体の大きな変化が気になります。それはますます地域への関心が薄くなりはいらないかということです。</li><li>・市として、まちづくりをどのように考えて（これからの）いるか、是非そのアイデアを出していただきたいです。</li><li>・また市として、全体の少子化において他市党からの転入者の増加を図るためにどのようにしていこうとしているのでしょうか。急な転入増加は見込めないでしょうか？希望的な考え方ができればと思って。（60代以上男）</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・少子化、先生の人数減少と負担増加、校舎の高経年化対策も含め、児童にとってより良い環境で学校生活を送って欲しいことが一番である。</li><li>・どこかに統合ではなく、新しい学校を作ってはどうか。</li><li>・浮島小学校廃校→垣生に一部編入しても、垣生は小規模校ではないか。その先は？</li><li>・多喜浜は遠いから統廃合しないのは適正な学校規模の考え方に反する。上部の小中学校統合に何の意味などない。クラス替えは？説明していることがめっちゃくちゃである。</li><li>・今、校舎に手を入れて30年持たすより、新しく一つにまとめ、新しく建てれば100年持つのでは。10年～15年ではなく、30年先を見据えた計画とすべき。</li><li>・小規模校に行かせたくない親の考えもあるが、決まり事を守るのは当然ではないか。学校区域の線引き強化をしっかり実行すること。（50代男）</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・基本計画の説明会は大変よかったですと思います。第1段階としての説明、今後、第2、第3段階と進むことになるとと思いますが、学校統合については理解できますが、閉校となると今後地域のことを考えると諸課題が生じ困難だと思います。</li><li>・高津小学校と統合し、児童を2分することによって適正規模、適正配置になるのではないのでしょうか。校区編成が必要だと思います。（60代以上男）</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・浮島小は人数こそ少ないが、障害のある生徒にとっても手厚くすばらしい学校です。統一テストの結果もいいと聞きました。それは小規模学校の方が、学力があたるのではないか？そのあたりを調査してほしい。（40代男）</li></ul>
校区は厳格に守るべきだ。（60代以上男）
<ul style="list-style-type: none"><li>・適正規模・配置の基準は時代に合わせて変えた方が良い。</li><li>・昭和通りは車の通行量が多いので、安全面を考えて、なるべく通りから北側は浮島小学校に通わせるように、ちゃんとルール化した方が良い。</li><li>・決定権のある人は、人の家庭の情や事情を挟まないようにお願いします。（40代男）</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・浮島校区は、松の木以外は川東になっているので、高津小だけにされると中学の校区が変わってしまうので、選択制にしてほしい。</li><li>・少人数で先生方の目の届く範囲で質の良い教育を受けられ、異学年との交流も盛んで安心して学校に通えるという浮島小ならではのメリットを感じる人が多いので、現在の通学生は卒業させてほしいと思います。</li><li>・わざわざ支援学級の質が良いため浮島校区に通っている方もいるので、そこも配慮してほしい。</li></ul>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーではなく、当たり前にいるような障害を持っている子・人がいるのが普通の日常で、思いやりの心を学んでいけると思います。デメリットもいわれますが、川東中でも垣生や神郷の子が暴れて困っている実態があるので、変える前に今の中規模教育をしっかり目の届く範囲でしてほしい。(40代)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色のある学級をなくして、大規模校だけを残すやり方でよいのか疑問です。(40代女)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浮島小学校をなくさないでください。終わらせないでください。(50代女)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当は、浮島小は残ってほしいです。先生の数のこともあり、いろいろ複雑な思いです。(40代女)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区外通学について、各家庭の事情があると言いますが、実際はどうでしょうか？いろいろな手を使って校区外通学している人がいるのを把握していますか？統合等は仕方ないと思うが、途中で離ればなれになって辛い思いをするのは子どもたちなので、最大限配慮してほしい。(40代男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の統廃合の流れは仕方ないことだと理解しているつもりですが、小規模の学校が大規模の学校より劣っているわけではないと思います。小規模の学校のメリットは列挙していただいたのですが、それらがなぜ大規模のメリットに負けるのか、申し訳ありませんがよくわかりませんでした(大規模にもデメリットはあると思うのですが)。別の方も言われていましたが、予算がないとか、人員が配置できないとか言っていた方がしっくりきます。</li> <li>・惣開小へ若宮小が統廃合されたとき、加配の教員が1名ついたと言っていました。浮島小が統廃合になったとき、高津小や垣生小にも加配はしていただけのでしょうか。そういったあたりにもぜひよろしくお願いします。(30代男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区外通学の基準の見直しを検討希望。(40代男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年1年生になるので卒業までいられるかとても不安です。具体的に次の学校に移る際のスケジュールが知りたいです。(30代女)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政状況、人員不足を考えると仕方ない。浮小は一人ひとりに目が行き届いて、校区内に児童センターや自然もたくさんあり、環境がいい。統廃合するのであれば安全面を考慮し、スクールバスの導入を検討してほしい。安全な通学路を整備してほしい。(30代女)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な配置というのは理解できます。うちの家庭ではあえて小さい小学校に通えるというのが魅力で、浮島校区へ家を建てました。子どもの性格などにもよると思いますが、どの学校が適正というのは一言では言い表せないと思います。特に小規模の学校へ通っている子どもたちは、そこを選んで通学しているということも理解してもらいたい。人数が増えることで通わず保護者としては不安。(40代女)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合化、小中一貫など施策を打ち立てているが、少子化によるデメリットを解消することに至っていない。学校児童数の推移をもっと検討し、全体最適を図るべき。</li> <li>・新聞、HPでも浮島が廃校(閉校)となるイメージが市民に焼き付いている。このまま浮島に入学させたくない人が増えてくる恐れがある。安易に許可しないように。</li> <li>・質問、要望の回答をもって、次回開催すること。(50代男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若宮小学校はワクリエとして様々な行事に使われている。浮島小学校もワクリエのような施設として再利用することは考えているのか。</li> <li>・川東地区の児童センターは評判は良いが、場所が分かりにくいという意見がある他、特別支援学校の需要が大きくなり、新居浜西高の隣や三島にできたりしている。浮島小を特別支援学校や児童センターとして活用できないか。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・川東地区は道路拡張などや下水道などインフラ整備が遅れており、道がせまい。人がめんどい、店がない、学校などの教育施設もない、ガラも悪いと、魅力が極めて少ない地区になっていくのではないか。</li> <li>・また、浮島は、浮小近隣は高津小の方が近く、神社側は垣生小の方が近い。同じ浮島地区で校区が分かれるのはいかがなものか。(20代男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市全体として考えてほしい。数年のことばかり(目先のことで)子ども優先で考えるなら、もう少し寄り添った案が必要。結局金のことしか考えていない。(50代)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会として浮島小学校を存続させる方策を考えてほしい。(60代以上男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浮島小学校は、私が通っていた頃、校区の端からでも通う児童はおり、校区外への通学というものはほぼなかったと思われます。現在80人という人数が本当にどうしても他校へ通う必要があるのか、なぜその人数を受理するのかを理解できません。校区外80人が浮島小学校へ通っても対象から外れないということですが、まずは校区外への通学者を戻してからが本当に議論をする時だと思います。新居浜の中では数少ない小学校の名が付いた太鼓台もあり、地域コミュニティでも大きく活躍しています。(40代男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模でもいいのでは。(60代以上男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は説明会、ありがとうございます。資料を見回したところ、やはり統廃合ありきでの説明であり、悲しく思います。校区外の小学校に通学するのを許可し、80人も人が校区外に通学しているのに驚きです。そこをもう少し見直して、小規模学級でのメリット等のアピールなどもして適正な学区、校区への通学が実現するのではないのかと思います。小規模ならではのメリットがたくさんあるので、デメリット、統廃合よりもメリットが先に歩いてくれることを願います。一つの学校が終わりを告げることの大きさをもっと重く考えて、今元気に通っている子たちのことを思い、今後の協議に反映してもらいたい。(30代男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校をなくす方向で話を進めていくのではなく、存続させるためにどういったことができるかと考えて業務に取り組んでください。そういった姿勢を見せることによって、地域側の考えや市職員に対する見方も変わっていくと思います。でないと、説明会に何回も行ったところで時間の無駄です。(30代男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区外通学等の人数80人？口頭にて、以上の資料がまったく記載がないのはなぜ？今後統廃合の話があると、もっと浮島→外小学校へ行く子が増える。今後、校区外通学についての考え方を変更すべきではないか。(50代男)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は浮島小学校の卒業生ではありませんが、学校がなくなるのはとても寂しいことだと思います。過疎化が進んでいる南予に住んでいて、私の母校も人数が少なく、複式学級となっていますが、学校は残っています。なので、浮小も複式学級で残すとか考慮してほしいです。(30代女)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年前に主人の実家の横に浮島校区へ新築を建て、引っ越しして来ました。今月の4月には1年生になる子どもと未就学児がいますので気になり、今日伺いました。具体的にいつ統廃合になるか気になっていますが、まだ決まっていないということでしょうか？今後通わせる子どもがいるので、そこが一番気になります。(40代女)</li> </ul>

## <基本計画に関するクロス集計>

基本計画	人数	学校の規模適正化	人数	校区の規模適正化	人数
1 内容を見た	34	(1) 理解できる	8	ア 必要	2
				イ どちらかというと必要	5
				ウ どちらかというと必要ない	0
				エ 必要ない	0
				オ どちらともいえない	1
		(2) おおむね理解できる	11	ア 必要	1
				イ どちらかというと必要	5
				ウ どちらかというと必要ない	1
				エ 必要ない	1
				オ どちらともいえない	3
		(3) 理解できない	8	ア 必要	0
				イ どちらかというと必要	1
				ウ どちらかというと必要ない	0
				エ 必要ない	7
				オ どちらともいえない	0
		(4) どちらともいえない	7	ア 必要	0
				イ どちらかというと必要	2
				ウ どちらかというと必要ない	0
				エ 必要ない	1
				オ どちらともいえない	4
2 策定したことは知っている	24	(1) 理解できる	1	ア 必要	0
				イ どちらかというと必要	1
				ウ どちらかというと必要ない	0
				エ 必要ない	0
				オ どちらともいえない	0
		(2) おおむね理解できる	14	ア 必要	0
				イ どちらかというと必要	8
				ウ どちらかというと必要ない	3
				エ 必要ない	0
				オ どちらともいえない	3
		(3) 理解できない	4	ア 必要	0
				イ どちらかというと必要	0
				ウ どちらかというと必要ない	2
				エ 必要ない	2
				オ どちらともいえない	0
		(4) どちらともいえない	5	ア 必要	0
				イ どちらかというと必要	0
				ウ どちらかというと必要ない	0
				エ 必要ない	2
				オ どちらともいえない	3
3 策定したことを知らなかった	7	(1) 理解できる	1	ア 必要	1
				イ どちらかというと必要	0
				ウ どちらかというと必要ない	0
				エ 必要ない	0
				オ どちらともいえない	0
		(2) おおむね理解できる	5	ア 必要	0
				イ どちらかというと必要	1
				ウ どちらかというと必要ない	1
				エ 必要ない	0
				オ どちらともいえない	3
		(3) 理解できない	1	ア 必要	0
				イ どちらかというと必要	0
				ウ どちらかというと必要ない	0
				エ 必要ない	1
				オ どちらともいえない	0
		(4) どちらともいえない	0	ア 必要	0
				イ どちらかというと必要	0
				ウ どちらかというと必要ない	0
				エ 必要ない	0
				オ どちらともいえない	0
合計	65		65		65

### 【区分1】学校の規模適正化

(1) 理解できる	10
(2) おおむね理解できる	30
(3) 理解できない	13
(4) どちらともいえない	12

65

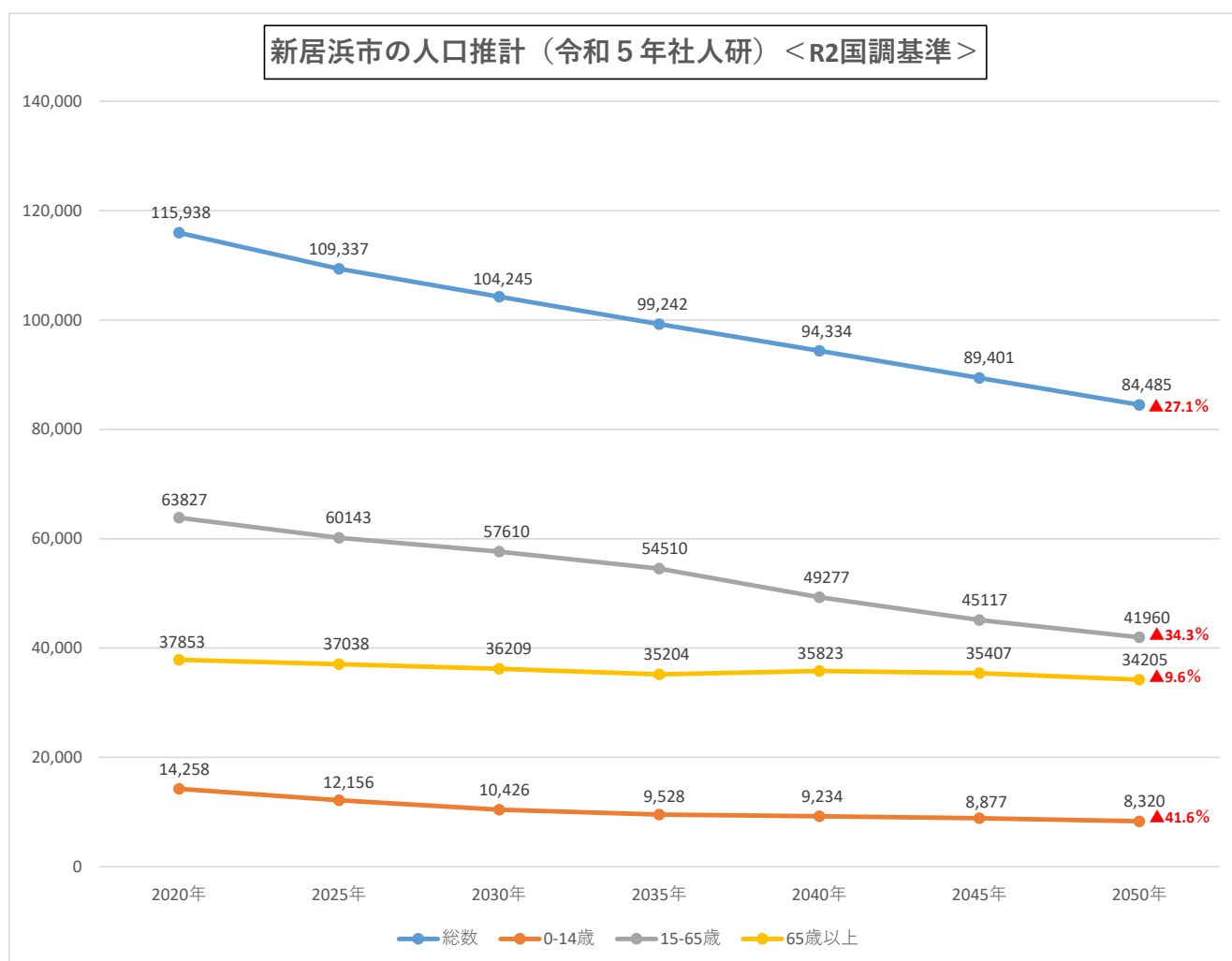
### 【区分2】校区の規模適正化

ア 必要	4
イ どちらかというと必要	23
ウ どちらかというと必要ない	7
エ 必要ない	14
オ どちらともいえない	17

65

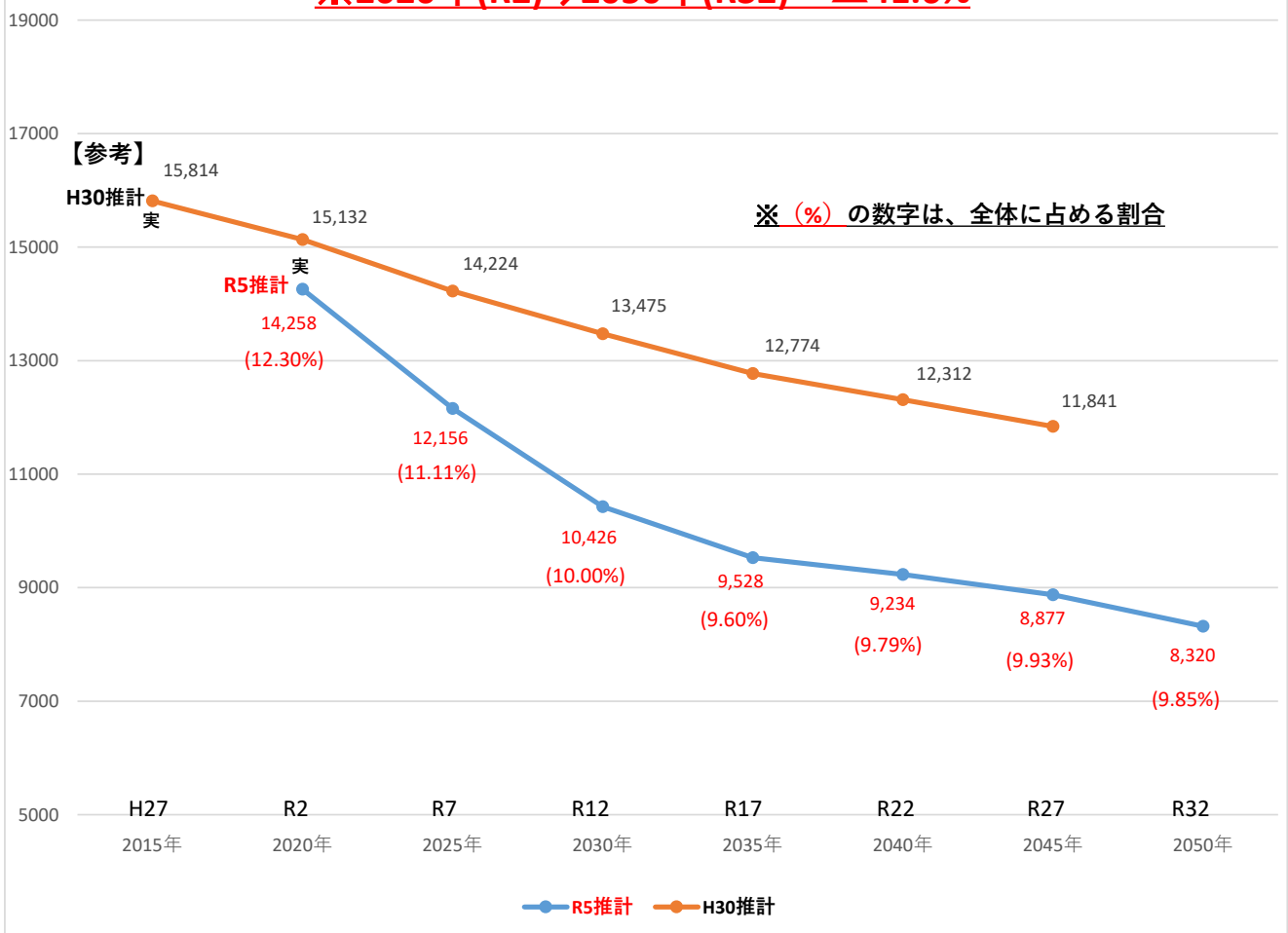


## 資料 5



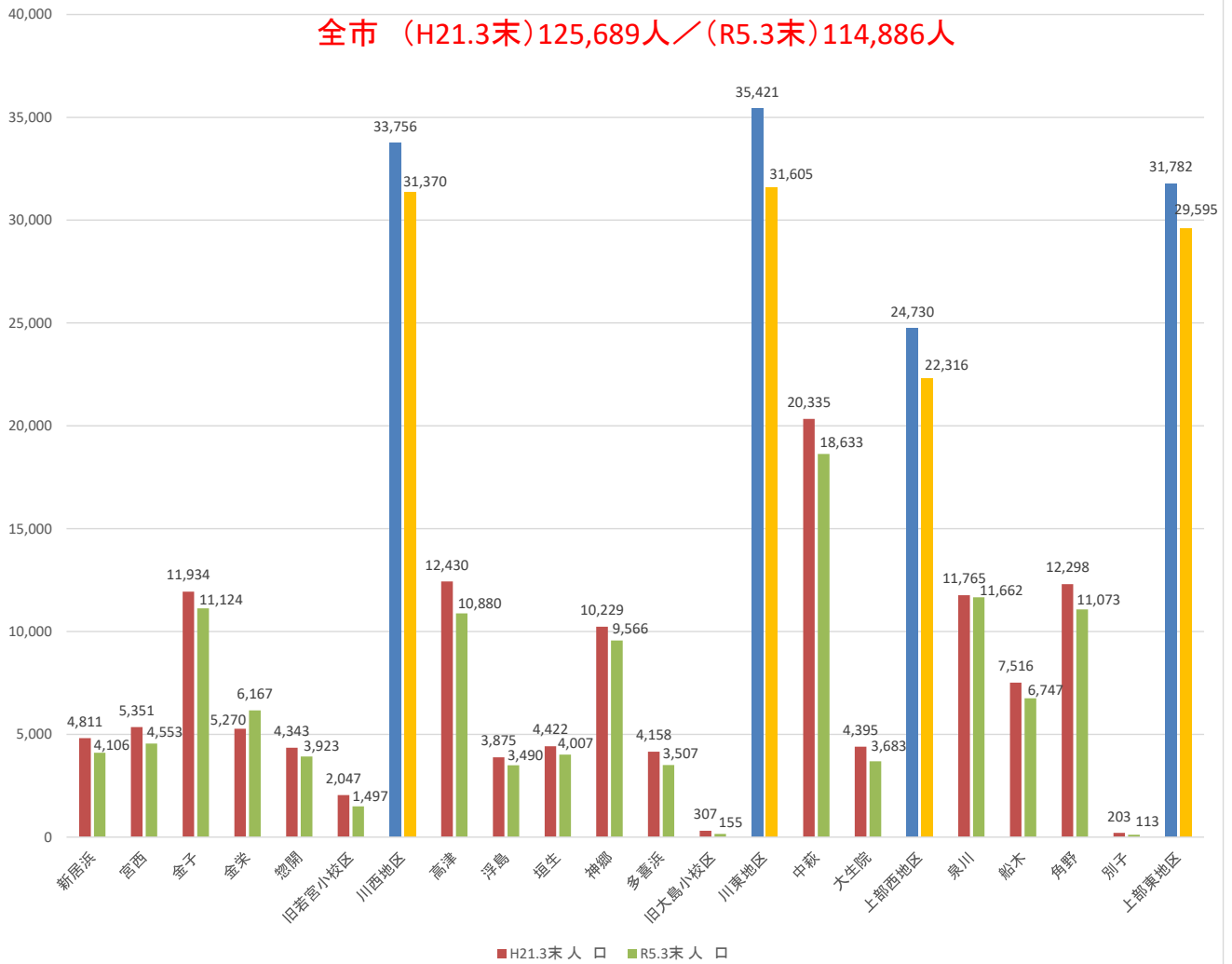
新居浜市の人口推計（0～14歳）（令和5年社人研）＜R2国調基準＞

※2020年(R2)→2050年(R32) ▲41.6%

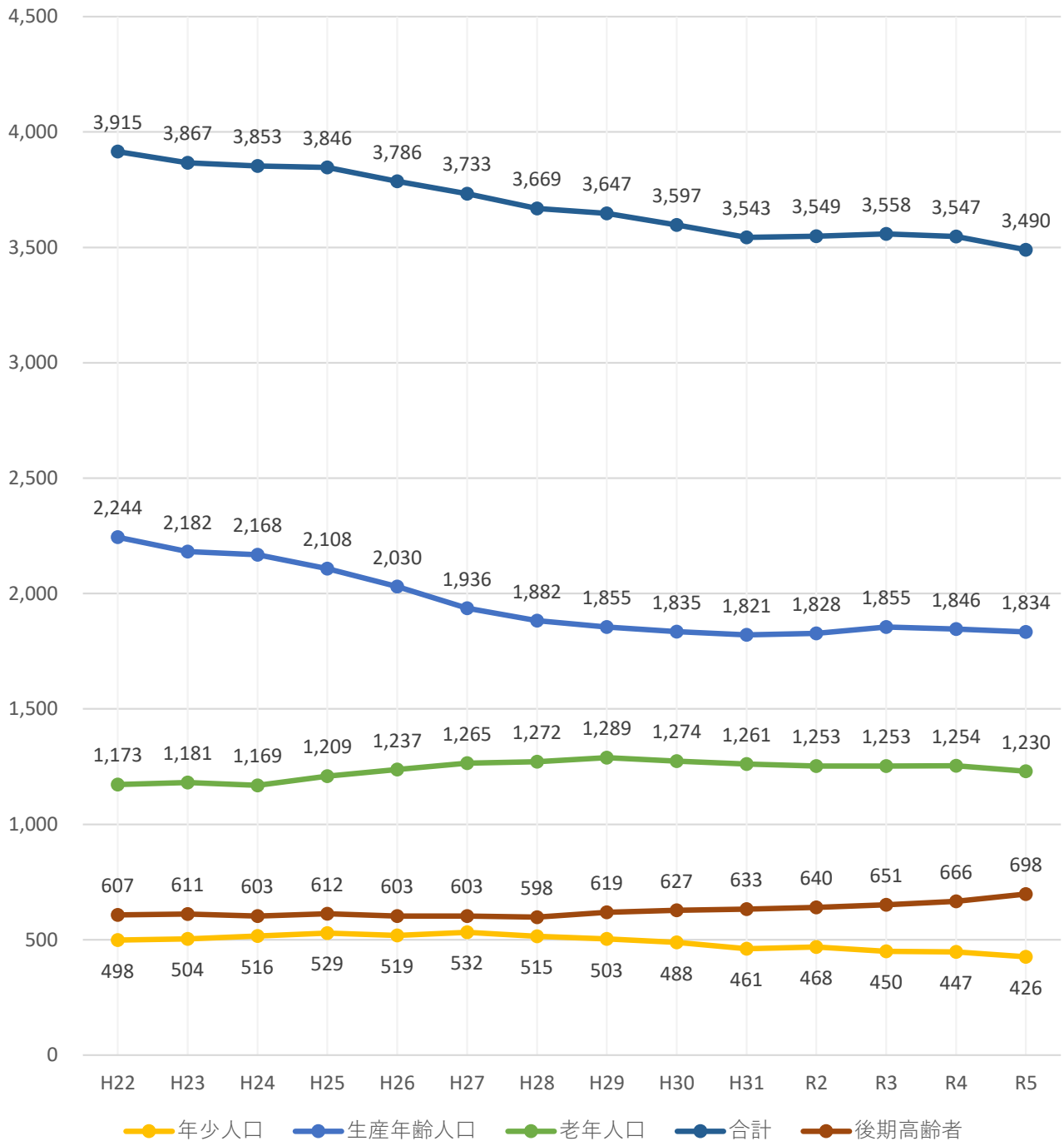


## 小学校区別人口動向(住基)

全市 (H21.3末)125,689人 / (R5.3末)114,886人

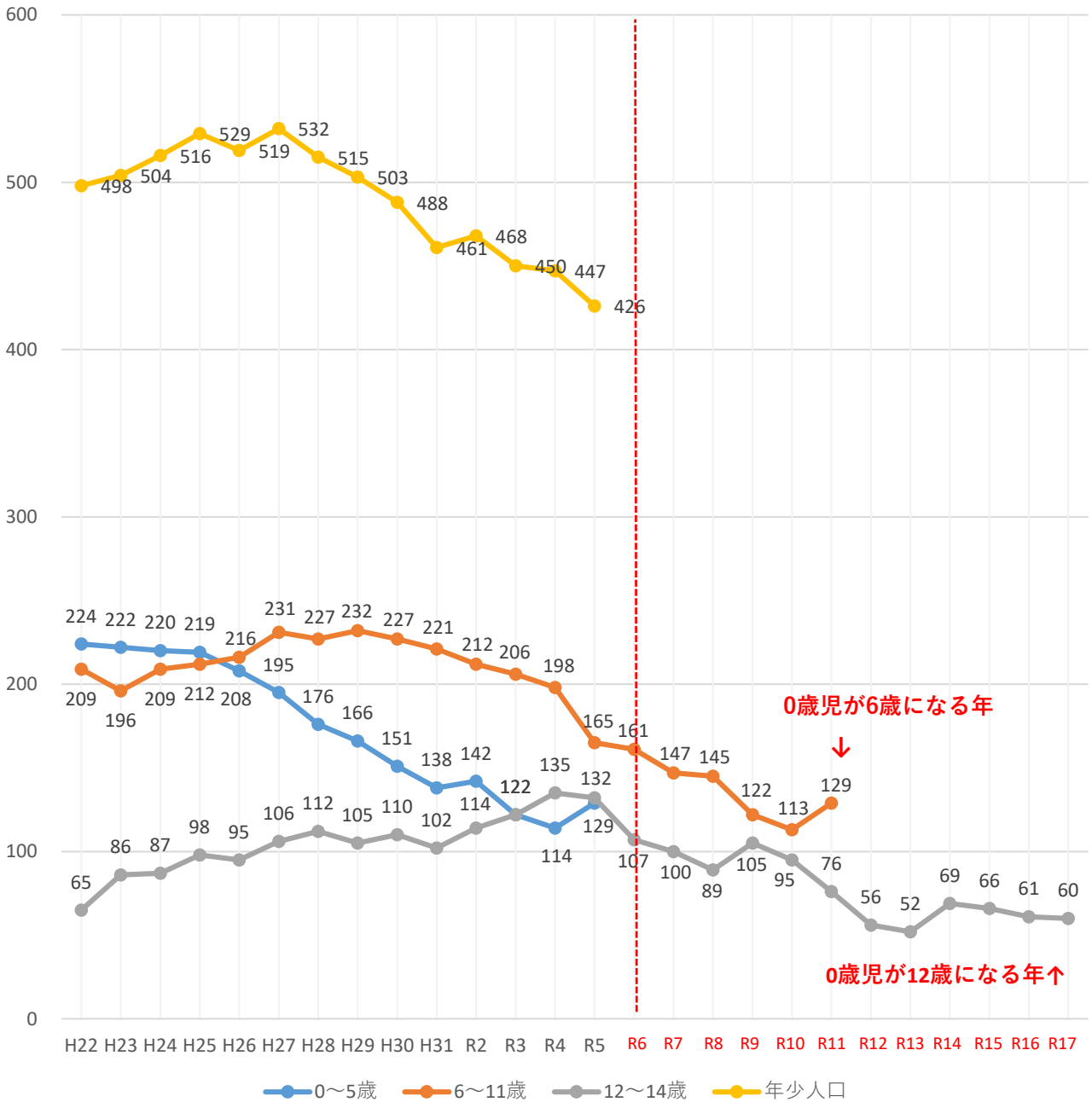


## 浮島校区の年齢区分別人口推移（住基）





### 浮島校区の年少人口推移（住基）



### 浮島校区の女性人口（住基）

